

京都国際マンガミュージアム特別展 「少女マンガパワー！—つよく・やさしく・うつくしく—」



イベント・ライブ・演劇に映画・CDリリースから書評に至るまで、骨太entertainmentを丸飲み！



©池田理代子「ベルサイユのばら」
雑誌表紙用カラーイラスト



©よしながふみ「西洋骨董洋菓子店」タイトルページ用カラーイラスト



©CLAMP「カードキャプターさくら」
クリアファイル用カラーイラスト

ART

7.19~
(Sat)

「男まさり？ 何それ？」な時代をつくった、 主人公たちには、教わるものがある。

「戦後強くなったのは、女と靴下だねえ」。なんてことを書くと「オマエは何歳だ？」と言われそうだけれど、マンガも「少年マンガの少女マンガ化」「少女マンガの少年マンガ化」が言われて久しい。何が言いたかったという、少女マンガの元気の良さ（ってコレ、タイトルそのままになっちゃうけど…）である。「NANA」「花より男子」「ハチクロ」「のだめ〜」…、と映画化・テレビドラマ化されたタイトルも本当に多いし、下手な三文小説を読むより、良くできたマンガの方が人生を豊かにしてくれるという持論を持つ僕も、「サードガール」という作品がバイブル化した本のひとつだ。

同展は既に北米9カ所と川崎、新潟を巡回しており、お馴染みの作家から松本零士（確かデビュー作が「松本あきら」名義の少女マンガだったと思う）なんていう意外な作家までの原画や原画（作家本人の監修のもと、色彩や修正・鉛筆の消し跡まで再現した精巧な複製原画）、愛用品など、国内開催では展覧数が300点以上に増えた。

「男まさり」という言葉を死語にしたのは、実はここにいる主人公たちなのかもしれないし、男性諸君には、京オナのしたたかさを読み解く（このあたり、次号特集に続きます）にも、一役かってくれるかもしれない。

（竹中 聡／本誌）

- 「京都国際マンガミュージアム特別展『少女マンガパワー！—つよく・やさしく・うつくしく—』」
- ～8.31 (Sun)
- 出展／手塚治虫、わたなべまさこ、松本零士、石ノ森章太郎、ちばてつや、水野英子、牧美也子、里中満智子、一条ゆかり、池田理代子、美内すずえ、竹宮恵子、山岸涼子、萩尾望都、陸奥A子、くらもちふさこ、岩館真理子、佐藤史生、吉田秋生、岡野玲子、CLAMP、今市子、よしながふみ
- 京都国際マンガミュージアム 2階 メインギャラリー
京都市中京区烏丸通御池上る西側
- 10:00～20:00（入館～19:30）／期間中無休
- 問い合わせ 075-254-7414
（京都国際マンガミュージアム）
- 一般1000円、中学生500円、小学生200円
※ミュージアム入場料
（大人500円、中学生300円、小学生100円）含む

街場

肩の力を抜いて、自由に語るうー、
京の街と付き合うということ。

演算

保伊戸宵
(ほいとよ)

〔第11回〕

吉符入りとともに、考える、

「あく野菜の美味しい時季に

なってきたなく」と

「そやそや胡瓜は食べたらかかん」ということ。

源氏物語千年紀なんてことを言っているが、つい最近まで建都1200年とか言っていた（いや、今でも言うてる人いますが…）ような気がする。まあ、先の戦争が「応仁の乱」やいうのも、冗談は半分ぐらいにしようと思いつつも、うちの祖母（今年98歳で健在です）が、昭和天皇が崩御される前に、真剣に「なんで院にならへんのやろ」と言っていた（そんなん明治の時代も大正のときもなかったと思うねんけど…）ことを思い出したひに、歴史というのが京都の人間には今を生きる中で減価却されているというか、演繹的に物事を考えるときに、その担保としての帰納的に物事を考える術にたけているんやなくと感心する。

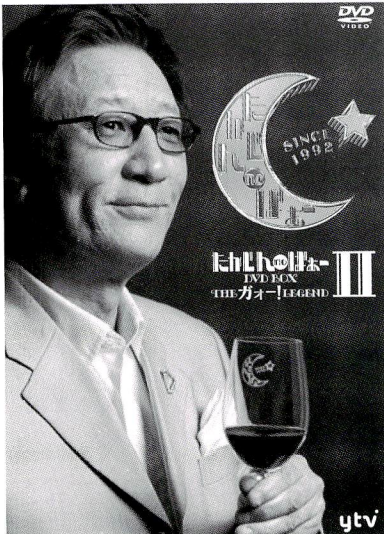
そんなひねくれ具合が、いい意味で40を過ぎた自分にも感じられるようになってきた気がする。まさにそれを不惑と言うのかも知れない。が、本誌の五所プロデューサーが写真を撮りに来られていた御霊神社の御輿で、不覚にもハードな捻挫をしてしまった。そう、この号の発売日は「吉符の入り」だということに…なんたる様か。

と、ここまで引つ張って、祇園祭の話に突入したのは、捻挫の回復が御輿洗いには間に合わなくとも、なんとか神幸祭には間に合っただけという気持ちとともに、本当に町衆や氏子は「胡瓜を食べないのか」を、ふと考えた

たかじんnoばあ〜 DVD-BOX THE ガオー! LEGEND Ⅱ たかじんのそこまで言って委員会 SPECIAL EDITION Ⅱ

RELEASE

7.25
(Fri)



仕組まれたホンネより、 ホンキのホンネがエエンちゃう!?

深夜枠で最高視聴率25.1%を記録したバケモノ番組「たかじんnoばあ〜」。たかじんがワイン片手にゲストと飲んだくれながら喋る番組で、アナタが木屋町や先斗町で「エエ酒」を飲んでいる時と同じテンションになれる一枚。

放映開始の'92年はバブルの名残。当時は今ほど「バーでワイン」は当たり前ではなく、祇園のワイン平均価格はワイン好きなたかじんが決めたとか…。

噂はさておき…、類似トーク番組は山ほどあるが、

「予定調和のない番組」にしたことが同番組の凄さであり、それを最後まで貫き通したのがたかじんの凄さだ。その潔さが現在も放映中であり、同時発売される「委員会」の、「討論番組って言うても、体の良いプロバガンダやん! な雰囲気ゼロ」にもつながっているのだと思う。

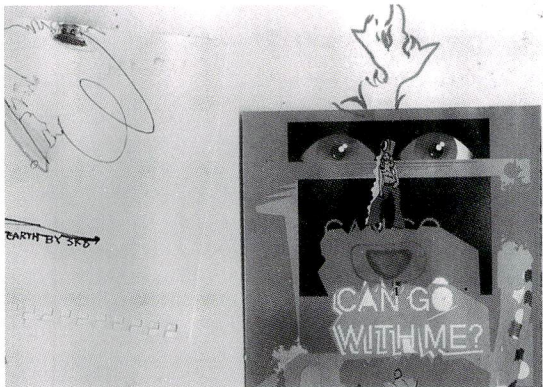
たかじんの物言いを「だみ声状の、京都人の内なる強い芯」と思うと、さらに面白みが増すこと請け合い。(松村奈央子)

- 「たかじんnoばあ〜 DVD-BOX THE ガオー! LEGEND Ⅱ」
「たかじんのそこまで言って委員会 SPECIAL EDITION Ⅱ」
- 税込 10290円
- 発売元：読売テレビ/販売元：東宝

CLAZYMARKETアートオークションVOL.2

EVENT

7.7~
(Mon)



浅野忠信やEYE、DOPPELの作品を、 オークションで買えちゃう!

それにしても日本の2000年代クラブ〜パーティ・シーンを革新させた「FLOWER OF LIFE」の面々、相変わらず刺激的なことをしてくれる。FOLの中心メンバーによるCosmicLabがアートオークションを主催するというのだ。

出品者には、浅野忠信やポアダムスのEYE、IPPIなどをはじめ、京都発のライブペインティング・デュオとしてクラブ・イベントからナイキやソニーとのコラボレートまで行き来するDOPPELの二人もそれぞれで参加。しかも! 生

きる伝説、という常套句さえ通用しないほどのレジェンド、ラメルジーもクレジットされてるではないか!!

「PARTYという言葉の中に"ART"がある」を合い言葉に、全国各地のパーティでつながった多種多様なクリエイターたちをこういった形で集め、そのリアクションを楽しむということ。これもまた、パーティの延長のひとつなんだろう。(中谷琢弥)

- 「CLAZYMARKETアートオークションVOL.2」 ■7.14 (Mon)
- 出品者/EYE (V-REDOMS)、RAM:ELL:ZEE、浅野忠信、SHOJI GOTO、IPPI、BetaLand、KOUTARO OYAMA a.k.a MON (DOPPEL)、山尾光平 as BAKIBAKI (DOPPEL)、RIE LAMBOLL、ALTZ、他
- http://www.clazymarket.jp
- 作品展示
6.25 (Wed) ~7.7 (Mon)
Cafe Absinthe (大阪・北堀江) 06・6534・6635/火休

からである。

奇しくも今月号の特集は「野菜」である。胡瓜さんには気の毒であるが、その心は「本当に食べない」のである。というか、店でも基本、出てこない。ミシユラン京都版への掲載を丁重にお断りになったという「瓢亭」の、祇園祭のメニューというものを参考にすると、鯛の粽寿司に添えられているのは朝瓜だし、じゅんさいの椀にはハモと、なななんと冬瓜。そして鱧のおとしには、え〜〜〜! 花つき胡瓜が添えてあるではないか! なんや胡瓜でてるやんけ! なんていうのは野暮というもの、胡瓜は食べるものではなく飾り(そやし花つきなんですわ)なのだ。

祇園さんの頃は、いろんな種類のみずみずしき夏野菜が出回り、美味しい盛りを迎える。何も胡瓜を食べなくても…ということもあるが、なぜ胡瓜を食べないかという理由はご存じ、胡瓜の輪切りを見たときにそれが祇園さんの紋である木瓜紋に見えることから、神さんを町に迎える祭りに神さんを食べてどうする! ということなのである。

祇園信仰は全国で同時多発的にあることは有名だがと思うが、この胡瓜を食べない風習も、夏祭りとしての全国の祇園祭でも同じく、特に博多の祇園山笠においては京都人よりも彼らは露骨に胡瓜を食べない。理由はもちろん同じである。

ちなみに、14日頃から16日まで、鉾や山のご神体や稚児人形を安置した飾りの席では、伝統的に京野菜が供物として奉納されている。それを見ていつも思うのが、立派な茄子や唐辛子とともに、しっかりと胡瓜が並んでいるのはなんで? である。えつ、神さんは食べて言いつて? う〜ん確かに。

保伊戸宵(ほいと・よい) / 7月のために1年を過ごしているといつていい編集者にしてコピーライター。なんと今年に入って神輿町の個人事務所から主な仕事場が山鉾のゴール地点ともいえる場所に移転。人生この方17日に、鉾が動いている時間に起きてることなんてことは無かったのだが、今年は見物でもするかと居る中。